

競 技 注 意 事 項

1 規則について

- (1)本大会は2019年度日本陸上競技連盟規則及び本大会申し合わせ事項によって行う。
- (2)本大会出場者は(一財)熊本陸上競技協会登録者のみとする。

2 練習場及び練習について

- (1)練習場は指定された練習場で係員の指示に従うこと。
- (2)補助競技場での練習は、トラック競技・跳躍競技のみとする。
- (3)砲丸投げの練習は、投てき場で行う。監督の付き添いのもと危険防止に努めること。
- (4)補助競技場のレーン使用区分は、原則として次の通りとする。(別紙使用区分を参照)
 - (ア)1・2レーンは中長距離
 - (イ)3・4レーンは短距離
 - (ウ)5・6・7・8レーンは男女のハードル

3 競技者の招集(コール)方法について

- (1)招集所は炬火台下通路(1F)に設ける。
- (2)各種目の招集開始時刻・完了時刻は、その競技時刻を基準とし、下記要領で行う。
従って、コールは1回だけ行う。(予選・決勝ごとに行う。)

競 技 種 目	招集開始時刻	招集完了時刻
トラック競技	30分前	15分前
フィールド 競技	棒高跳	100分前
	走幅跳・砲丸投	70分前
	三段跳・走高跳	60分前

- (3)招集完了10分前までに招集所に待機し、係員から最終点呼を受ける。同時に、胸・背・腰ナンバーカード、スパイク、衣類等、競技場内への持ち込み物品などの確認を受ける。
- (4)他の種目に出場しているなど特別な事情がある場合に限り、代理人による招集を認める。この場合、必ず競技者係主任に申し出る。同時刻帯に2種目を兼ねて出場する競技者も同様である。
- (5)やむをえず棄権する場合は、競技者係に必ず届ける。
- (6)招集時刻に遅れた場合、当該種目を棄権したものとして処理する。
- (7)競技場への入場は、競技者誘導係によって行う。
- (8)リレーに出場するチームは「リレーオーダー用紙」(招集所に準備またはプログラムに添付のもの)に必要な事項を記入の上、**招集完了時刻の60分前(競技開始時刻75分前)**までに招集所に提出すること。リレーの招集には、走る4人全員で招集所に待機すること。低学年リレーのオーダーは1走から2年―1年―1年―2年の順とする。リレーに使用するマーカーは主催者が準備したものを使用する。
- (9)四種競技は、2日間とも第一種目のコールを招集所で行い、必要に応じて競技者に注意事項及び連絡事項を伝達する。

4 ナンバーカードについて

- (1)すべての競技者は、ユニフォームの胸と背に番号が確実に見えるよう、配布された大きさのままつける。但し、走高跳・棒高跳の競技者(混成競技を含む)は、胸、背部いずれか一方でよい。走幅跳・三段跳の競技者は胸部の一方でもよい。
- (2)トラック競技出場者は全て、腰ナンバーカードをつける。腰ナンバーカードは招集所で配布する。

5 組合せ・走路・試技等について

- (1)トラック競技は全て写真判定装置を使用する。
- (2)トラック競技決勝のレーン順は、本部より抽選で決定する。
- (3)レーンを使用する場合、1～9レーンを使用する。（原則、8人の場合は2～9レーンを使用する。）
- (4)短距離走のフィニッシュ後は、競技者同士の安全のために、自分の割り当てられたレーン（曲走路）を走る。
- (5)1000m・2000m・4000m・8000m・ハードル・4×1000mR 競技の予選はタイムレースで行い、決勝は8名（リレーは8校）で行う。決勝進出者の決定は1000分の1秒まで比較し選出する。それでも決定できない場合は、決勝を9名で行う。同タイムが3名以上の場合は抽選とし9名で決勝を行う。
- (6)1500m・3000mは、タイムレース決勝とし、第1組に好記録を持っている選手を入れる。
- (7)フィールド競技で試技に要する時間は、1分以内（試技ができる準備が完了してから）とする。
- (8)砲丸投は本競技場で行う。
- (9)走幅跳においては、《男子4m80》《女子4m00》を越えたと思われるもののみ計測する。
- (10)三段跳の踏切板は砂場より9mの地点に設ける。
- (11)スタートはイングリッシュコマンドで行い、フライングについては、1回目の選手から失格とする。但し、混成競技は2回目の選手から失格となる。
- (12)走高跳・棒高跳のバーの上げ方は、下記のとおりとする。

種目	練習	1	2	3	4	5	6	備考
男子走高跳	1m35	1m40	1m45	1m50	1m55	1m60	1m65	男子1m70 以降は3cmずつ上げる。
女子走高跳	1m10	1m15	1m20	1m25	1m30	1m35	1m40	
男四種走高	1m15 1m50	1m20	1m25	1m30	1m35	1m40	1m45	男子1m50 以降は5cmずつ上げる。
女四種走高	1m00 1m30	1m00	1m05	1m10	1m15	1m20	1m25	
男棒高跳	1m70 2m40 3m00	1m80	1m90	2m00	2m10	2m20	2m30	すべて10cmずつ上げる。
女棒高跳	1m50	1m60	1m70	1m80	1m90	2m00	2m10	

* 走高跳・棒高跳のはじめの高さについては、協議の上、変更することもあり得る。

6 競技場への入退場について

- (1)競技場への入退場については、すべての競技役員の誘導により行う。
- (2)トラック競技者の衣服は、係員がフィニッシュ地点ゲートに搬送しておく。

7 抗議について

- (1)競技中におきた競技者の行為または順位に関する抗議は、規則 146 条にもとづき、結果の正式発表後 30 分以内に、また次のラウンドが行われる種目では結果の正式発表後 15 分以内に、本人または監督から審判長に対して口頭で申し出る。

8 表彰について

- (1)各種目ごとの表彰は個人種目は第8位、リレーは第3位までとする。その競技終了後ただちに正面玄関ロビーに集合する。
- (2)入賞者は係員の誘導によって正面玄関ロビーに行き、表彰式まで待機すること。他の出場種目と重なる場合は代理人をたてること。

9 更衣室について

- (1)更衣室は補助練習場内の更衣室を使用すること。
- (2)更衣室は更衣のみに使用する。シャワーなどの使用は禁止する。

10 競技用具について

- (1) 競技に使用する用器具は、投てき物を含めすべて主催者が用意したものを使用しなければならない。ただし、棒高跳用ポールは個人所有のものが使用できる。ポールについては、その競技開始前に跳躍場で跳躍審判員の検査を受け許可されたものが使用できる。
- (2) フィールド競技で、助走路に使用できるマークは、主催者が用意したマーカー 2 個まで置くことができる。

11 競技用シューズについて

- (1) 競技場は全天候舗装である。
- (2) スパイクのピンの数は 11 本以内で、長さ 9mm、走高跳は 12mm を越えてはならない。また、ピンの先端の直径は 4mm 以内とする。(第 143 条②③④⑤⑥)

12 その他

- (1) トラック・フィールド内には、その種目の出場者・役員以外は、監督といえども立ち入らないこと。
- (2) 競技者は競技中、無断で競技場所を離れてはならない。
- (3) バックスタンド及び立入禁止区域には絶対に立ち入らないこと。
- (4) リレーに出場するメンバーのユニフォームは、原則として同一のものとする。
- (5) 各学校の応援や選手待機については、次ページの「申し合わせ事項」を厳守すること。

第 4 6 回全日本中学校陸上競技選手権大会標準記録 (追い風参考記録は対象としない)

男子 (13 種目)				女子 (10 種目)			
種目	標準記録	種目	標準記録	種目	標準記録	種目	標準記録
100m	11" 20	走高跳	1m85	100m	12" 53	走高跳	1m60
200m	22" 75	棒高跳	4m00	200m	25" 80	走幅跳	5m45
400m	51" 60	走幅跳	6m55	800m	2' 16" 50	砲丸投	12m50
800m	2' 00" 50	砲丸投	13m00	1500m	4' 38" 00	四種競技	2630点
1500m	4' 08" 50	四種競技	2500点	100mH	14" 80	4×100m	各都道府県
3000m	8' 57" 00	4×100m	各都道府県			リレー	1 チーム
110mH	15" 00	リレー	1 チーム				

☆ 2 日目 (21 日) の競技終了後、102・103 号 (審判控室) で全国及び九州大会の説明会を行います。

九州大会出場校は監督 (コーチ) のみ、全国大会出場校は選手と監督 (コーチ) が参加してください。